

宮城大学 後援会報

Vol.32

発行
平成22年7月30日

発行者
〒981-3298
宮城県黒川郡大和町学苑1-1
宮城大学後援会
TEL 022(377)8381

編集
宮城大学後援会事務局

Message



看護学研究科博士後期課程スタート
優れた指導者・研究者の養成を目指す

看護学研究科長 武田 淳子

看護学研究科では、今年4月に待ちに待った博士後期課程がスタート致しました。これにより、学部4年間、博士前期課程(修士課程)2年間、博士後期課程(博士課程)3年間の教育体系が整い、地域の看護職はもちろんのこと、多くの卒業生・修了生のキャリアアップを支援する体制が充実したことを大変うれしく思っております。

後期課程では、人の生涯にわたる健康支援を総合的に教育研究する看護の統合分野として「生涯健康支援看護学分野」を置き、地域の医療や看護に対する深い知識と高度な研究開発能力をもち、優れた教育力や管理能力をもつて看護実践の改革を追究・統括できる『高度看護実践指導者』や『看護教育研究者』の養成を目指しています。

フステージや健康状態、生活の拠点等に基づいて区分された各看護専門領域(小児看護学、成人看護学、地域看護学等)の専門性をさらに統合・包括した看護支援方法を研究開発していくために、合同ゼミや集団指導の機会を多く取り入れていることも特徴のひとつです。今年度は、3人の定員枠に4人の入学者を迎えることができました。

また、博士後期課程の設置に伴って、博士前期課程についても教育課程を整備し、「研究能力養成コース」と「高度専門職業人養成コース」の2コース制にするともに、仕事を続けながら学ぶ大学



授業風景

院生が多いという本研究科の特徴を踏まえて、長期履修制度や夜間開講等の教育方法の特例措置を講ずるなど修学環境の整備にも力を入れていきます。

今後、多くの卒業生・修了生の方々が入学してくださることを心待ちにしております。

食産業学部 マーケティングを実践で学ぶ マルシェ・ジャポンに出店しています

2009年秋、農林水産省の支援により生産者と消費者を結びつける都市住民参加型市場マルシェ・ジャポンが全国8都市で始まりました。

マルシェ・ジャポン・センダイは昨年12月にサンモール一番町でスタート。本学食産業学部でも出店し、附属農場で採れた新鮮な農産物やオリジナルの日本酒(※)などを販売しています。販売を担うのは有志の学生ボランティア。雪の降る日も風の吹く日も元気よく接客に励んできました。

現在、食産業学部では学生・教職員の垣根を超えた実行委員会を組織し、ナチュベジ、醸造研、製パン、鍋部といった学生サークルのメンバーを中心に、今年度の出店やイベントの企画に向けた準備を行っています。マルシェでは、マーケティングを実践的に学習する販売実習の場や卒業研究の

フィールドとしても活用させていただいています。マルシェは学生が地域の人々と接する貴重な窓口となっています。

これから夏にかけて勢いづく畑と共に、私たちもパワーアップして出店に臨みます。8月は21、22、28日、9月は11、12、18、19日に出店を予定しています。ぜひ宮城大のブースを応援しに来てください。

※日本酒の販売は8月下旬以降になる予定です。
(食産業学部フードビジネス学科 助教 谷口葉子)



マルシェ・ジャポン・センダイに出店した
宮城大ブース=仙台一番町



地域に誇れる活動を目指して

後援会会長 後藤 栄志

日ごろ、会の運営におきましては、会員の皆さまにご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

今年で開学14年目を迎えた宮城大は、昨年、公立大学法人として新たな運営の一步をあゆみ始めました。これに伴い大学では、一層効果的な教育、効率的な運営を目指し、いろいろな取り組みを行っています。後援会は開学より一年遅れの13年目となりますが、大学の法人化後も変わらず、地域社会への貢献を目指す大学を支援してまいりたいと考えております。

その一つに就職活動への支援が挙げられます。今、学生は勿論保護者



法人この一年を振り返って

理事長・学長 馬渡 尚憲

宮城大学が県を設立団体とする公立大学法人となってまる1年が過ぎました。法人化の目的は、教育、研究、社会貢献の水準を一段と向上させて、宮城大学を東北地域の卓越した知の拠点に変えていくことにあり

ました。教育面では、共通教育及び3学部専門教育のカリキュラムの大幅改正を実施しましたし、「学習奨励基金」で意欲ある学生の学習支援事業を開始いたしました。「学習奨励基金」へのご協力ありがとうございます。

の方にとつて、一番心配されているのはやはり就職だと思えます。また、まだ経済状況の好転は感じられず、全国的に学生の就活は困難を極めております。しかし、本学は、そのような中で全国平均を上回る就職率を維持しています。これは、レベルの高い学生や、地域社会に貢献できる人材を輩出している、大学の教育の取り組みに、多くの企業が期待を寄せている現われと思えます。後援会としても、学生ができるだけ多くの企業と接点を持てるよう、そして最終的に自ら目指す就職に結びつくよう、大学の取り組みを積極的に支援していきたくと考えております。

いきました。

高い能力を身につけて国際社会及び地域社会で活躍できる人材を輩出できるように、役員、教職員一同、力が入ってきたと言っていると思えます。このご時世に、就職率は97割でしたし、入学の志願倍率・実質競争倍率も上昇しました。大学院博士課程設置等も順調でした。結果もついてきているかと思っております。法人化によって、理事会を中心とした自主・自律的な運営に移ること

さらに、本会が充実した支援を行うためには、会員（保護者）の皆さまからのご意見、ご助言が不可欠と考えております。それはこれからの宮城大の運営にもきつと役立つことと信じております。そのため、支援事業のみならず主催事業におきましても、出来るだけ保護者の皆さまに気軽に大学へ足を運んで頂きご意見を伺えるよう、企画を充実させてまいります。ぜひ、多くの会員の皆さまにご参加いただきたいと思えます。今後も、私たち役員は、地域に誇れる後援会活動を目指し、学生と保護者、そして大学と皆さまのパイプ役として運営に取り組んで参ります。会員の皆さまには、更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

によって、後援会や同窓会との連携保護者の方々の支援や卒業生の方々の支援が特に重要になっていきます。いきなり伝統校と同じように行かないことは承知していますが、皆様との連携・協力の緊密化ということについては、法人・大学としても最大限の努力を行いたいと思っております。一層のご協力、ご支援のほどをよろしくお願いいたします。また、当法人・大学では、ホームページ上で、徹底した情報公開に努めております。ホームページをご覧いただければ、当法人・大学のことをリアルにまた身近に感じていただけるかと思っております。

内容	内容
総会	4月5日
理事会	年6回
各種助成	サークル (43団体) 学生会 (4委員会) 大学祭、ガーデンキャンパス
支援事業	資格取得奨励金支給 体育・文化活動に対する奨励金支給 進路対策事業支援 留学生住宅総合補償金一部助成
卒業記念事業	卒業生(学部生)への記念品 大学への記念品 卒業記念パーティ助成
主催事業	講演会 保護者の集い 合同企業研究会
会報発行	第32・33・34号

項目	予算額	備考
取	会費 17,200,000	新入生・編入生・終身会員
	大学保護者懇談会 200,000	参加者会費
	雑収入 0	
入	大学諸経費 2,300,000	予防接種、オリエンテーション
	繰越金 5,148,951	
	収入計 24,848,951	
支	事務費 2,300,000	理事会、特別委員会経費
	会議費 450,000	
	事業費 15,765,000	サークル助成等
	大学保護者懇談会 200,000	
	卒業記念積立金 2,580,000	卒業生記念品
	大学諸経費 2,300,000	予防接種、オリエンテーション
出	記念事業等積立金 1,000,000	
	予備費 253,951	
	支出計 24,848,951	

項目	予算額	備考
取	積立金 2,580,000	@6,000円×430人(入学生分)
	繰越金 8,547,894	
入	収入計 11,127,894	
支	事業費 2,736,000	@6,000円×456人
	予備費 0	
出	繰越金 8,391,894	
	支出計 11,127,894	

項目	予算額	備考
取	積立金 1,000,000	一般会計より
	繰越金 5,871,861	
入	収入計 6,871,861	
支	事業費 1,000,000	大学法人化記念事業
	予備費 0	
出	繰越金 5,871,861	
	支出計 6,871,861	

内容	内容
総会	4月3日
理事会	年6回
特別委員会	会長副会長会議2回 学生代表との意見交換会2回(各キャンパス毎) サークル (41団体)
各種助成	学生会 (4委員会) 大学祭、ガーデンキャンパス
支援事業	資格取得奨励金支給 オープンキャンパス経費一部助成 看護国家試験対策費助成 看護実習用マスク購入支援 インターンシップ意見交換会経費助成 留学生住宅総合補償金一部助成
卒業記念事業	卒業生(学部生)への記念品(万年筆) 大学への記念品(大和フジエクター、太白キャンパスベチ) 卒業記念パーティ助成
主催事業	菅原文太氏・小泉武夫講演会とパネルディスカッション/宮城大と保護者の集い 合同企業研究会開催
会報発行	第29・30・31号

項目	予算額	備考
取	会費 18,260,000	新入生・編入生・終身会員
	大学保護者懇談会 192,000	参加費@4,000×48人
	雑収入 0	
入	大学諸経費 10,472,649	保健、予防接種、オリエンテーション他
	繰越金 8,840,199	
	収入計 37,764,848	
支	事務費 2,028,064	人件費等
	会議費 352,188	理事会等経費
	事業費 11,893,208	大学祭、サークル助成等
	大学保護者懇談会 192,000	
	卒業記念積立金 4,084,000	卒業生記念品 他
	大学諸経費 12,580,172	保健、予防接種、オリエンテーション他
出	記念事業等積立金 1,000,000	
	予備費 486,265	
	支出計 32,615,897	

項目	予算額	備考
取	積立金 4,084,000	
	繰越金 7,031,894	
入	収入計 11,115,894	
支	事業費 2,568,000	
	繰越金 8,547,894	
出	支出計 11,115,894	

項目	予算額	備考
取	積立金 1,000,000	一般会計より積み立て
	雑収入 0	
入	繰越金 6,142,886	
	収入計 7,142,886	
支	事業費 1,271,025	
	繰越金 5,871,861	H22年度へ
出	支出計 7,142,886	

役職	氏名
会長	後藤 栄志
副会長	沖野 佳秀
	古山 由美子
	下山 晴朗
理事	今井 美紀子
	太田 勝志
	加藤 幹夫
	笹川 桃子
	佐藤 直子
	高野 清純
	高橋 葉子
	中野 三郎
	永山 順姫
	和田 達雄
監事	阿部 孝一
	柳 佳



“祝い餅”の食材は全て手作り

「食産業学部さなぶり」
田の神に感謝し豊作を願う

5月26日（水）の昼休み、太白キャンパスを会場に「食産業学部さなぶり」を実施しました。「さなぶり」とは、田植が無事終了したことを田の神に感謝し、豊作を祈願する。そして皆で御馳走を食べ、労をねぎらう行事です。事前に学生ボランティアを募って、農場実習で栽培した小粒ダイズを原料に納豆を作り、きな粉やアズキ餡も手作りしました。当日は早朝から3台の餅つき機を稼働させ、40台のモチ米で餅を作りました。

この日は後援会会員の方々にも参加いただいたっており、池戸学部長と古山後援会副会長のごあいさつに続き、臼と杵で八分までつきあがっていた祝い用の餅を、学部長と後援会の今井理事に仕上げて頂きました。そして事前に作っていた納豆餅・きな粉餅・アanko餅の詰合せを参加者に配って、「食産業学部さなぶり」を祝いました。

行事後は、後援会の方々に附属坪沼農場を視察して頂きました。そこでは「農場開催の公開講座や、生産物の販売に関する連絡をもらいたい」などのご意見を頂き大変有意義なものとなりました。附属農場の充実には後援会の御理解が不可欠と考えていますので、今後ともご鞭撻をお願い致します。今回「さなぶり」を実施するにあたり後援会からご協力いただきましたことをこの場を借りて、お礼申し上げます。

（農場長 ファームビジネス学科教授 松森一造）

「さなぶり」へ参加してきました

ファームビジネス学科1年
 保護者 中村美奈

子供はどんな大学で何を学んでいるのか、大学の田畑や家畜小屋、キャンパスを見たくて参加しました。見学は、先生方が丁寧に説明くださり、学生達の作業実習がどのように行われているのか大変よくわかりました。農場や家畜小屋はとてもきれいで、手の行き届いた様子や清潔感を感じ安心できました。これから子供が学ぶ事を応援する気持ちと、農作物への感謝と感心を高めたいと思いました。

今後、このような機会があれば是非参加したいと思います。



中村さん(右)



果樹園

牛舎

平成22年度入学式

看護博士後期課程 1期生加え 508人が仲間入り

平成22年4月5日、第14回入学式が大和キャンパス講堂で行われました。

この日入学したのは、看護学部104人、事業構想学部211人、食産業学部142人と今年から博士後期課程が設置された看護学研究科15人、事業構想学研究科23人、食産業学研究科13人の、合わせて508人です。

式では入学生紹介に続き馬渡尚憲学長が式辞で「大学時代は、人間の精神的な能力がもつともものびる時期です。密度の濃い大学生活を送って、『知力』『意欲』『心』そして『判断力』の4つの精神力を鍛えてください。」と述べ新入生を激励しました。村井嘉浩知事はあいさつで、自分の師である松下幸之助

氏の教えから「いつしよに入学した仲間、先輩、そして、大学の外でも関わりを持つ人たちに心を開いて、積極的に働きかければ、教わるのとがたくさんあるはずですよ。ぜひ、そのような心がけて充実した大学生活を過ごしてください。」と述べました。

新入生を代表して事業構想学部の木皿菜々さんは、入学の喜びとともに「宮城大学の理念であるホスピタリティ精神とアムニティ感覚を磨き、様々な新しい取り組みに挑戦していきます」と力強く決意を述べました。

入学式の後には、1階アトリウムで記念撮影が行われ、キャンパスライフの第一歩が刻まれました。



厳かな雰囲気にも包まれた会場



入学の決意を述べる学生代表

平成22年度 宮城大学入学者選抜試験実施状況

学部・学科・(種別)	募集人員	実質競争倍率	入学者数	入学者詳細				
				性別		出身地		
				男	女	県内	県外	
看護	看護学科	100	2.5	104	9	95	79	25
事業	事業計画学科	100	3.0	107	32	75	82	25
	デザイン情報学科	100	3.3	104	48	56	69	35
食産	ファームビジネス	43	5.0	49	22	27	30	19
	フードビジネス	55	4.0	59	14	45	33	26
	環境システム	32	3.5	34	21	13	21	13
合計		430	3.6	457	146	311	314	143

※出身地は、卒業高校等所在地で分類（大検は県外に分類）

平成22年度 宮城大学大学院入学者選抜試験実施状況

学部・学科	募集人員	実質競争倍率	入学者数	入学者詳細			
				性別		出身地	
				男性	女性	県内	県外
看護学研究科博士前期	10	1.2	11(4)	1	10	10	1
看護学研究科博士後期	3	1.3	4(2)	0	4	3	1
事業構想学研究科博士前期	20	1.1	21(17)	16	5	13	8
事業構想学研究科博士後期	3	1.0	2(1)	2	0	2	0
食産業学研究科	13	1.1	13(8)	8	5	11	2
合計	49	1.1	51(32)	27	24	39	12

※()内の数字は宮城大学からの進学者

◇平成21年度卒業生進路状況(学部生)

区 分	卒業生				
	就職	進学	その他	計	
看護学部	男子	11	0	0	11
	女子	85	7	3	95
	計	96	7	3	106
事業構想学部	男子	32	7	7	46
	女子	54	2	4	60
	計	86	9	11	106
	男子	27	8	12	47
	女子	42	6	6	54
計	69	14	18	101	
食産業学部	男子	16	1	2	19
	女子	10	3	7	20
	計	26	4	9	39
	男子	7	4	1	12
	女子	31	3	2	36
	計	38	7	3	48
	男子	10	3	3	16
女子	12	4	1	17	
計	22	7	4	33	
合 計	337	48	48	433	

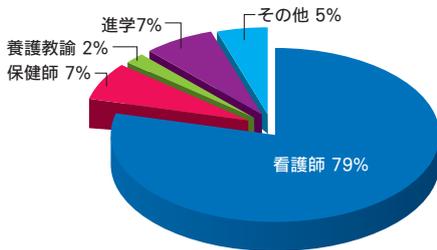
平成21年度卒業生は、厳しい情勢でありながらも96・6割強の就職率を達成し、各学部とも全国平均である91・8割を大幅に上回る結果となりました。進学先については特筆すべきこととしては、事業構想学部計画学科において千倍、二千倍ともいわれる超難関の国内最大手広告会社、またデザイン情報学科においても国内最大手のインターネット総合サービス会社編成部デザイン部署への就職を果たすなど、今までになかった大手クリエイティブ部門への門戸を押し開いたことがあげられます。食産業学部においては、特段に良い数値を達成した第1期の反動が心配されましたが、第2期目においてもフードがけん引役となって依然堅調であったといえます。看護学部は盤石の100割でした。

(キャリア開発室長 日原広一)

平成21年度卒業生
 厳しい就職状況
 の中で善戦

◇卒業生の進路

看護学部



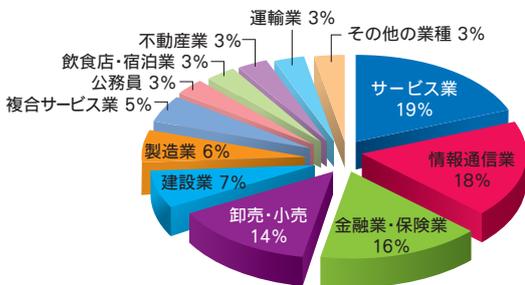
就職先一覧(五十音順)

若手医科大学附属病院 大崎市民病院 大衡村(保健師) 川崎幸病院 九州大学病院 国立国際医療研究センター 国立成育医療センター 坂総合病院 塩竈市(保健師) 自治医科大学附属さいたま医療センター 社会保険中央総合病院 昭和大学病院 昭和大学横浜市北部病院 市立長浜病院 聖隷浜松病院 瀬戸市(保健師) 仙台オープン病院 仙台厚生病院 仙台市(消防士) 仙台市(保健師) 仙台社会保険病院 仙台赤十字病院 鶴巻温泉病院 東京医科歯科大学医学部附属病院 東京医科大学八王子医療センター 東京歯科大学市川総合病院 東京慈恵会医科大学大附属病院(本院) 東京慈恵会医科大附属柏病院 東京都立病院 東邦大学医療センター大森病院 東北会病院 東北公済病院 東北厚生年金病院 東北大学病院 戸田中央総合病院 獨協医科大学病院 福島県富岡町(保健師) 虎の門病院 名取市(特別支援員) 日本赤十字社医療センター 平鹿総合病院 福島県(養護教諭) 松田病院 美里町(保健師) 宮城県(保健師) 宮城県(養護教諭) 宮城県立病院 横須賀共済病院 横浜市(保健師) 横浜南共済病院

進学先一覧(五十音順)

仙台医療センター附属仙台看護助産学校 聖路加大学大学院(ウィメンズヘルス・助産学専攻) 浜松医科大学(助産学専攻科) 福島県立総合衛生学院(助産学科) 宮城大学大学院(看護学研究科)

事業構想学部



主な就職先一覧(五十音順)

【事業計画学科】

アイリスオーヤマ㈱ ㈱エイチ・アイ・エス ㈱NTTデータ東北 大衡村 ㈱鐘崎 カメイ ㈱ ㈱かんぽ生命保険 キヤノンマーケティングジャパン㈱ ㈱七十七銀行 ㈱松竹マルチブレックスシアターズ ジョンソン・エンド・ジョンソン㈱ 仙台コカ・コーラボトリング㈱ 仙台市 仙台ターミナルビル㈱ 第一生命保険㈱ 中央労働金庫 データコム㈱ ㈱電通 東北労働金庫 図書印刷㈱ ㈱ニトリ 日本アイ・ピー・エム・サービス㈱ 日本銀行 東日本高速道路㈱ 東日本旅客鉄道㈱ 東松島市 ㈱ホギメディカル 三井住友海上火災保険㈱ 三菱地所ビルマネジメント㈱ 宮城県 郵便局㈱ 郵便事業㈱ ㈱りそなホールディングス ㈱ワークスアプリケーションズ

【デザイン情報学科】(情報システムコース)

エヌ・ティ・ティ・コムウェア㈱ ㈱七十七銀行 ㈱T T K 東北インフォメーション・システムズ㈱ ㈱パールライズ宮城 ㈱日立東日本ソリューションズ 郵便事業㈱

【デザイン情報学科】(デザイン情報コース)

アイリスオーヤマ㈱ イトキン㈱ ㈱クロスキャット ㈱フェリシモ ㈱三菱東京UFJ銀行 サイバーコム㈱ 楽天㈱

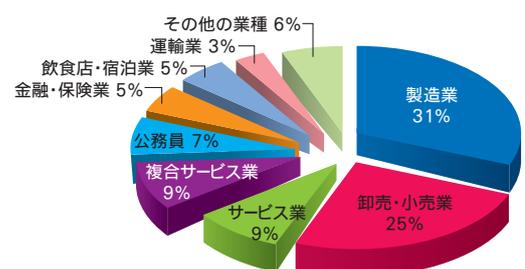
【デザイン情報学科】(空間デザインコース)

㈱エスケーホーム ㈱NTTファシリティーズ東北 ㈱木下工務店 積水ハウス㈱ 東北電力㈱ 東日本旅客鉄道㈱ 三菱地所ホーム㈱

進学先一覧(五十音順)

千葉大学大学院 筑波大学大学院 東京工科大学大学院 東北大学大学院 宮城大学大学院 横浜国立大学大学院 立教大学大学院

食産業学部



主な就職先一覧(五十音順)

【ファームビジネス学科】

㈱阿部蒲鉾店 あさひな農業協同組合 イオンリテール㈱ 伊藤ハムデiyリー㈱ ㈱ジービーエス 全国農業協同組合連合会長野県本部 仙台中央食肉卸売市場㈱ 仙台農業協同組合 ㈱セントラルフルーツ 東北労働金庫 社団法人日本食肉格付協会 みどりの農業協同組合 郵便局㈱ 郵便事業㈱

【フードビジネス学科】

青葉化成㈱ 伊那食品工業㈱ ㈱鐘崎 北日本くみあい飼料㈱ ㈱久世 ㈱サトー商会 ㈱七十七銀行 昭産商事㈱ 白石食品工業㈱ 仙台コカコーラ・ボトリング㈱ ㈱成城石井 ㈱ドン・キホーテ ㈱ニチレイフーズ 日本食研ホールディングス㈱ ㈱日本政策金融公庫 ㈱藤崎 ㈱ヨークベニマル

【環境システム学科】

いしのまき農業協同組合 石巻地方広域水道企業団 新日本空調㈱ ㈱DNP東北 ㈱日本食品分析センター 東日本旅客鉄道㈱ 久光製薬㈱ 宮城県 森永乳業㈱ ワタミフードサービス㈱

進学先一覧(五十音順)

大阪市立大学大学院 東京農工大学大学院 東北大学大学院 北海道大学大学院 宮城大学大学院

看護学部「医療機関研究セミナー」

県内外から48機関を招く

今年度も看護学部「医療機関研究セミナー」を、6月16日(水)に大和キャンパス体育館において開催いたしました。今回で5回目となるこのセミナーは学生への就職支援を目的としております。

参加いただいた医療機関は県内外から48を数え、3・4年生185人に対し医療機関の概要や採用情報等の説明をしていただきました。学生は休憩時間もうろくにとらずに着席し、熱心に説明を聞き積極的に質問を行っていました。

このセミナーは、4年生にとっては本格的な就職活動の開始となり、3年生にとつてもこれから進路を考える良いきっかけとなりました。

(大和キャンパス事務部学務課 古川睦美)



医療機関の説明に積極的に質問する学生=6月16日大和キャンパス体育館

食産業学部合同企業説明会

就職活動を前に 業界研究



16社からの情報収集に真剣かつ整然と取り組む学生=7月7日太白キャンパスカフェテリア

7月7日、太白キャンパスカフェテリアにて食産業学部3年生及び大学院1年生を対象とした合同企業説明会を開催しました。宮城県を中心とした業界を代表する16社の企業・団体の方々にご参加いただきました。

早いもので、この説明会も4回目の開催となりました。今年は、就職環境のさらなる悪化や産業実習でマナー・ガイダンスを取り入れたことなどから、例年以上に真剣かつ整然と取り組んでいました。

特徴的だったのが、参加企業に内定した4年生も説明会に参加していたことです。堂々と落ち着いた姿は、緊張の面持ちの3年生に比べ一回り大きく見えました。今回の説明会を契機に、夏休みのインターンシップを経て、10月から本格的な就職活動が始まります。3年生のみならずも、これから一年間の就職活動を通して、さまざまな成長を遂げてくれるものと期待せずにはられません。

そのためにも、教職員一丸となって学生の志望する進路に進めるよう支援してまいります。(太白キャンパス事務部総務学務課 木戸要介)

キャリア開発室の新戦力紹介



太白キャンパス キャリア開発室
進路指導員 大竹里保さん

太白キャンパスの進路指導員になりました、大竹里保です。学生のみなさんには自分らしさや将来の方向性を考えるこの時期に、より多くの社会人と触れ合い話すことで感覚を養ってほしいと思います。1秒でも過去は変えられない過去です。

困難に直面した時どう乗り越えるかを考え、次に繋げてほしいと思います。何かを変えたいと思っている人はキャリア開発室に来て下さい。宮城大で学ぶ学生のみなさん一人一人が、自分らしく生き活きと生きられるよう、一緒に考えていきたいと思っています。

コンクリート産業とリサイクル

食産業学部教授 農学博士 北辻 政文

「食産業学部なのに、なぜコンクリートの研究をやっているのですか」とよく聞かれます。私は農学部出身ですが、コンクリート工学が専門です。作物にとって、「命の水」を農地に導いている農業水利施設は主にコンクリートできており、農業用排水路の総延長は約4万5,000km、地球を10周するくらいの距離があります。またこれらの水利施設は約25兆円の資産価値があるといわれています。現在、コンクリートは年間3億トンが製造されており、これまで90億トンものコンクリート構造物が建設され、我々の暮らしを支えています。

本稿では、コンクリート産業の役割について、少し違った視点、すなわち環境の面からお話ししましょう。コンクリート産業は大量の資材を使うため、廃棄物の利用先として期待されています。例えば、セメント工場では1トンのセメントを製造するのに420kgの廃棄物を利用しており、全体で年間約3,000万トンの廃棄物を資源として受け入れています。その量は、わが国で最終埋立される廃棄物量に匹敵しています。最近では、家庭ごみを1,200℃以上の高温で、マグマ状に溶かし冷やして固めています。これは「熔融スラグ」と呼ばれ、年間約100万トンが製造されています。宮城県では、仙台市

松森工場、石巻クリーンセンターなどで製造されています。この熔融スラグも砂の代替材料としてコンクリートに用いられています。その他にも、製鉄所から出るスラグ類、コンクリートガラ、火力発電所から排出されるフライアッシュ、ガラス屑など多様な廃棄物がコンクリート材料として有効利用されています。

輸出入バランスの極めて悪いわが国において、廃棄物の適正処理は大きな課題です。コンクリートをはじめとした建設産業のリサイクル技術は、世界でもトップクラスであり、循環型社会の構築に向けて、今後、大きな期待が寄せられています。

Profile

(きたつじまさふみ)
熊本県天草市生まれ。岩手大学農学部卒業、宮城県農業短期大学助教授、宮城大学食産業学部准教授を経て、平成21年4月より現職。(社)日本産業機械工業会「エコスラグ利用普及センター」顧問、(財)宮城県環境事業公社評議員、全国コンクリート製品協会東北支部技術委員会外部技術顧問。



コラム リサイクルを考える！①

後援会の 取り組み

平成22年度主催事業講演会

講師に辻井いつ子さん



長男で現在ピアニストとして活躍する伸行氏が生後間もなく全盲となり、絶望と不安のなか、手探りで子育てをスタートした辻井さん。持ち前の積極性と行動力のみごと伸行氏の可能性を引き出しました。講演会では、子育てだけに限らず、その経験から得た生き方についてお話ししていただきます。

題して「明るく、楽しく、あきらめないく子どもの才能の見つけ方、伸ばし方」
どうぞお楽しみに。

日時：平成22年10月10日（日）

午後2時～午後3時30分

場所：宮城大学大和キャンパス講堂

入場料：無料

※詳細については後日ご案内します

「保護者の集い」を 「講演会」と 別日程で開催します

毎年、講演会と同日に開催していた「宮城大学と保護者の集い」を、今年度は別日程の11月上旬から中旬に、キャンパス別で開催します。またこれまで懇親会が中心だったものを、より充実した集いとなるよう、教員の方々にご協力いただき、保護者向け模擬講義、就職説明会、講演会、意見交換会、教育相談会、懇親会などを取り入れ、内容も一新します。

詳細につきましては改めてご案内致しますので、ぜひご参加ください。

後援会役員と学生代表意見交換会

学生の声に耳を傾け、充実した支援を

後援会では学生の支援を充実させるために、役員と学生代表の意見交換会を行っています。

今年度は6月17日に大和キャンパスで、6月24日に太白キャンパスでそれぞれ行われ、学生から各委員会の活動状況が報告された後、

学生からの要望や後援会役員からの質問等意見交換が行われました。大和キャンパスでは、今年度は

キャンパス間での交流を計画していることや、この数年交流がどこ

こつている岩手県立大学との交流についても取り組んでいくことが報告され、役員側からも是非進めてほしいとの意見がありました。

そのほか学生からはサークル室の設備や大学祭に必要な備品などについての要望があり、役員側も理解を示し、今後検討していくこととしました。

太白キャンパスでは、学生が実施した通学バスのアンケート結果の報告があり、朝のバスの増便について話題となり、後援会としてもできることは協力していきたいが、まず、大学と連携しバス会社

に要望していくようにとの意見がありました。また、例年話題となっていたピオトープの設置について、取り組んでいる学生から報告があり、太白キャンパスの自然についても話題がおよび、役員側も豊かな自然に感心しました。

後援会としても、常に学生等の意見・要望等を聞きながら、大学、学生の為の支援を考えていきたいと思

います。

（後援会事務局会計書記 菅原隆之）



活動状況を報告する学生(右)=6月24日、太白キャンパス会議室

絆

KIZUNA ①

宮城大学が設立されて13年。今では多くの卒業生が社会で活躍するようになりました。そこで、卒業生に限らず、これまで大学にかかわってきた方々の中から、当時のエピソードや現在の活躍のようす、あるいは外から見た宮城大への思い、今だから分かる両親への感謝の気持ちなど、さまざまな形でメッセージをお寄せいただき、「絆」をご紹介します。第1回は、空間デザインコース同窓会の立ち上げに中心的役割を果たしている、2期生の岡本寛司さんにご登場いただきました。

「なんで、仙台の大学に？」

空間デザインコース2期生（H13年度卒） 岡本 寛司

地方から東京へ出てきた両親とのほどお願いいたします。

は逆に、大学の4年間で両親と離れ過ぎ決断をしました。進学した宮城大学で私が得たものは、知識だけではなく、多くの大切な友人・師匠（先生方）との出会いです。

卒業後、建築設計を生業として8年経ちます。現在は大学でお世話になった人の元で仕事をし、

同窓生と結婚し子どもを授かり、そして大学時代から続く多くの人との繋がりが、公私ともに充実した時間を得ています。私にとって「人との出会い」というものが大学時代から続くキーワードとなっています。

その「出会い」をこれからも作り出していきたく、2010年4月に空間デザインコース同窓会「SPACE X VISION」を設立しました。今後、卒業生、在校生が繋がっていくことが出来る活動を行なっていきます。ご支援



町内のお祭にお揃いで参加。岡本さん御一家。

空間デザインコース同窓会「SPACE X VISION」の詳細はこちら
<http://www.space-x-vision.com/>
contact@space-x-vision.com

H22 MYU キャンパスカレンダー

4月
1日(木) 春季休業(～7日)
5日(月) 入学式

5月
1日(土) 開学記念日(休業日)

6月
7日(月) 認定看護師スクール入学式
26日(土) 入試日(大学院 大和)

7月
3日(土) 入試日(食産編入 太白)
7日(水) 食産業学部企業研究会
22日(木) 前期試験(～28日)
31日(土) オープンキャンパス(大和)



たくさんの方が
来場した昨年の
オープンキャン
パス(大和)

8月
1日(日) 夏季休業開始(～9/30)
オープンキャンパス(太白)
7日(土) 入試日(大学院 太白)
26日(木) 入試日(AO大和)

9月
16日(木) 入試日(看護編入・AO大和)
17日(金) 入試日(大学院 大和)
28日(火) 入試日(AO 大和)

10月
1日(金) 後期授業開始
9日(土) 大学祭(～10日 大和)
ミニオープンキャンパス(大和)
10日(日) 後援会主催事業
〈辻井いつ子さん講演会〉
16日(土) 大学祭(～17日 太白)
ミニオープンキャンパス(太白)
21日(木) 入試日(AO大和)

11月
上旬～中旬 後援会主催事業
「宮城大学と保護者の集い」



昨年の
「保護者の集い」

12日(金) 第1回合同企業研究会
25日(木) 入試日(特別選抜)

12月
11日(土) 入試日(特別選抜、食産編入)
17日(金) 認定看護師スクール修了式
25日(土) 冬季休業開始(～1/7)

H23・1月
15日(土) センター試験(～16日 大和)
19日(水) 第2回合同企業研究会



初めての試み、
2月開催の
合同企業研究会

2月
2日(水) 後期試験(～2/8)
5日(土) 入試日(大学院 大和)
12日(土) 入試日(大学院 太白)
25日(金) 入試日(一般選抜前期)

3月
12日(土) 入試日(一般選抜後期)
18日(金) 卒業式・学位授与式

MYUFES. 2010

今年の大学祭は、大和キャンパスでは10月9日・10日、太白キャンパスでは10月16日・17日に、それぞれ2日間にわたって行われます。両キャンパスの実行委員長から現在の活動状況や抱負など報告してもらいます。

魅せます!

「Show10」お楽しみに

こんにちは、2010年度大学祭実行委員長 横祥吾です。

早速ですが、今年の大学祭のテーマは「show10」です。私達、大学祭実行委員会は大学祭を宮城大学の楽しさをアピールする場所であると考えています。そこで宮城大学の楽しさを「魅せる=show」と、2010年の「10」を組み合わせると「show10」です。

現在、大学祭実行委員は約70人という大所帯で活動しています。最近、ロゴが決定したり、営業活動が始まったりと、いよいよ今年の大学祭の色が見え始めてきました。

例年以上に学生に参加を呼びかけ、活気のある大学祭を目指します。今年も大学祭を最高のものにしようと委員一同努力していますので、ご支援よろしくお願ひ致します。
(大和キャンパス大学祭実行委員長 計画学科2年 横 祥吾)



大抽選会で幸運は小学生に＝昨年大学祭(大和)

「情熱太白」へのご来場

お待ちしております

今年の大学祭のテーマは「情熱太白」です。このテーマは私たち実行委員だけでなく、学生や教職員が情熱をもって作り上げるという意味がこめられています。例年よりもたくさんの方の地域のみなさまに会場に来ていただくために、太白区に密着し情熱をこめた大学祭を作り上げようと努力しています。また、模擬店やイベントにも趣向を凝らし、少しでも多く「食産業学部らしさ」を前面に出せるよう現在試行錯誤しています。

そして大学外の人にも多く参加していただきたいので広告や宣伝など工夫して行い、宮城大学食産業学部の名を少しでも広めることができたらいいと考えています。
(太白キャンパス大学祭実行委員長 フードビジネス学科2年 中村浩平)

2010年 学生会 活動

学生会代表 小嶋君(大和)、岡本君(太白)が抱負

決意を新たに「学生と向き合う」

今年度、執行部は新しく入った1年生とともに、昨年までとは違う意識を持って活動を行っています。それは「学生と向き合う」ことです。いままでそうでなかったのかと言われてしまうかもしれませんが、学生と向き合うことは大きな覚悟がいります。いろいろな人の意見を正面から受け止める覚悟、努力に手間暇を惜しまない覚悟、責任の重さも増します。昨年は執行部としてそこから逃げてしまっていたかもしれ

「通学時のバス混雑」
解決に向けて行動

解決に向けて行動

入学式から3ヶ月が経ち、新入生は少しずつ大学生活に慣れてきた頃かと思えます。また、3年生は就職、4年生は卒業論文に向けて忙しくなる時期ですが、どの学生も充実した学生生活を送っています。

太白の学生会執行部では、4月に新入生歓迎会、6月に学生総会をおこない、現在は球技大会や、大和との交流会の実施に向けて検討を行っています。また昨年度か



学生会執行部ミーティング風景＝大和キャンパス

ません。そのせいで空回りしてやり切れた感がなかったというのが正直なところです。そこで今年度は地盤を固め、新たな決意を持って、学生の意見を多く聞ける執行部の体制作りに取り組みたいと考えています。まだまだこれからですが、すでに学生の多数の意見により変わり始めています。大変なのは当たり前、だからこそやりがいのある執行部を作っていきたいですね。

(事業構想学部3年 小嶋景太)

また新入生の少ない執行部ですが、今後も新入生の勧誘を行うなど学生会を充実させ、学生からの新しい要望についても解決に向けて努力していきます。
(食産業学部3年 岡本孝次郎)

保健室から



健診結果で健康の見直しを！

本年度4月から保健指導員として着任いたしました山岸です。よろしくお願いします。



さて今年も4月に「定期健康診断」を行いました。その結果をもとに、6月は校医の先生の指導により、以下の結果の学生には、個人に郵送される結果表にピンク用紙の呼び出し票を同封して、保健室で事後指導・受診勧奨を行いました。

- 検尿；二次検査の有所見者
- 体重；BMIが30以上 ※ BMI = $\frac{\text{体重 (kg)}}{\text{身長}^2 (\text{m})}$
- 血圧；拡張期血圧 135mmHg以上または収縮期血圧 85mmHg以上
- 胸部X線、診察；有所見者

約100人の対象者に対して、来室者は50名に止りません。検診結果は、隠れた病気の早期発見・治療や生活習慣を見直す良いきっかけとなります。受けっぱなしにせず、今後も健康についての啓発と、自己管理の重要性を呼びかけていきたいと思っております。

(大和キャンパス保健指導員 山岸寿子)

学生相談室から

両キャンパスをカバー 気軽にご相談を

こんにちは。臨床心理士の山田明子です。学生相談室に着任して今年で4年目。一緒に入学した(?)学生達は一人一人が力をつけ、次の社会というステージに向け今日も頑張っています。その姿を眩しく眺めつつ、私がこの4年で成長したのは体重ぐらいたなあと呟いていますが、学生相談室はこの春、少し成長しました。

それは、太白での開室日が週2日になったことです。開室は月・木曜で、従来通り大和は水・金曜なので、宮城大として週4日は随時相談に対応できる体制が整い、以前より少し使いやすくなりました。学生だけでなく学生に係るご家族の相談にも対応し、両キャンパスが利用できるので、気がかりなこと等どうぞお気軽にご連絡ください。



(宮城大学学生相談室 スクールカウンセラー 山田明子)

● 公立大学法人宮城大学主要役職員紹介 ●

役職員及び主要新任教職員を紹介します。

- ・ 理事 人事務担当 佐々木 努
- ・ 看護学部 教授 峯岸 直子
- ・ 看護学部 准教授 菅原よしえ
- ・ 食産業学部 准教授 川島 滋和
- ・ 食産業学部 " 石川 伸一
- ・ 食産業学部 " 今野 政憲
- ・ 共通教育センター 教授 マーガレット・チャン (兼看護学部)
- ・ 准教授 マシュー・ウィルソン (兼事業構想学部)
- ・ 事務部 事務部長 千葉幸太郎
- ・ 参事兼総務課長 菊田 靖
- ・ 学務課長 小山 敏美

教員からの一言

地域活性化のための 人材育成を目指して



事業構想学部 教授 徳永 幸之

「頑張る地域を応援します！」これは、最近政府がよく使う言葉です。地域主権や規制緩和の流れの中で、地域活性化に強い意欲とアイデアを持つ地域には、お金の面だけでなく、制度まで含めて応援していきますというものです。このやり方がいいのかという問題はありますが、現実にはこれによって地域間格差が広がってしまうことにもなりかねません。これからの地方自治体には

は改善意欲を持つ優秀な人材が必要であり、特にビジネス感覚を持った人材が必要とされています。学生の多くは自らの活躍の場を東京に求めていますが、自らの手で地元を活性化させようという気概を持って頑張る人材を増やしていくしたいと思います。事業計画学科では、昨年からの基礎ゼミで連携協定を結んでいる自治体の協力を得て、地域課題を理解し、その改善策について考えるというのを始めました。地元での発表会では、若者の視点に刺激を受けたとの評価もいただきました。しかし、まだアイデアの提案にとどまるもので、この経験をもとに自らの専門知識を深め、実現可能性の高いプロジェクトの企画力とその実行力を身につけてもらいたいと思います。

■ 地域連携センターより公開講座のお知らせ

開講日時	◎講座名	◎講師名	定員	会場
9月25日(土) 13:00~14:30	◎学部仙台サテライトキャンパス公開講座「動物の進化には限界がある?~遺伝子群の働きを制限する化学ファクター」	◎食産業学部准教授 須田義人	70名	仙台市市民活動サポートセンター 6階セミナーホール
10月23日(土) 13:30~16:00	◎地域連携シンポジウム「歴史薫る大崎市のまちづくり~近代化遺産群の価値共有に向けて」	◎工学院大学教授・元文化庁技官 後藤治氏	100名	醸室 TERAKOYA ホール (大崎市古川)
11月5日(金) 13:00~15:00	◎事業構想学部公開講座「グローバル化したインダストリアルデザインにおける地方の力」	◎Tomoko Azumi氏	50名	TRUNK 協同組合 仙台卸商センター
11月10日/17日/24日/12月1日(水)	◎みやぎ県民大学「<親-子>の歴史①②③④」	◎看護学部准教授 山岸利次	20名	ハーネル仙台

※参加はすべて無料です。
〈お申込み・お問い合わせ〉 宮城大学地域連携センター
 TEL: 022(377)8414/FAX: 022(377)8282/E-mail: renkei@myu.ac.jp

[お知らせ]



メールアドレスの登録について

後援会では、今年度から本会及び大学の行事等の情報をメールでもお知らせ致します。情報の配信をご希望の方は、氏名、電話番号、ご子女の氏名、学部学科、学籍番号を明記し、下記アドレス宛てメールを送信下さい。

kouenkai@myu.ac.jp

編集後記

今号から、同窓生を始めこれまで大学にかかわって来た方に、大学にまつわるお話を寄せた方に、ご紹介するシリーズ「絆」を企画しました。より学生のため、より大学のための支援を、共に考えるきっかけとなれば幸いです。皆さまのご意見、ご感想をお寄せ下さい。(S・I)